

⑥ 沿岸域に関する「海しる」の現状について

内藤 健志

情報利用推進課海洋空間情報室

1. 「海しる」の概要

「海洋状況表示システム」、愛称「海しる」は、海上安全、自然災害対策、海洋環境保全、海洋産業振興といった様々な分野での利活用を目的として、政府機関等が保有する様々な海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できる情報サービスである。

平成 28 年 7 月の総合海洋政策本部決定及び平成 30 年 5 月閣議決定された第 3 期海洋基本計画に基づき、我が国の海洋状況把握 (MDA) の能力強化に向けた取組の一環として、内閣府総合海洋政策推進事務局の総合調整のもと、政府機関等の海洋情報を集約し、海上保安庁において平成 31 年 4 月から「海しる」の運用を行っている。

2. 「海しる」で提供している情報・機能

「海しる」に掲載されている情報は、政府機関等との連携により、雲の衛星画像、天気図、降水情報、海流、潮流、潮汐、波の高さ、地震関連情報、地理院地図、海底地質図など 250 項目を超える。日本の周辺海域のみならず、衛星情報を含む全世界の情報を掲載しており、時間的には、気象・海象のようなリアルタイムの情報や天気予報等の少し先の予測情報、過去の情報も掲載している。

「海しる」の機能としては、「海しる」の地図上で距離や面積を計測したり作図したりできる機能、「海しる」で作った地図を自分の Web サイトに埋め込むことのできる機能を備え、「海しる」の利用の幅を広げている。

「海しる」は、掲載情報の充実や機能の拡充をすすめている。海しるの情報を外部アプリから取得・利用できるように「海しる API」の運用を 2022 年 2 月に開始した。さらに、海洋教育推進に向け、「海しる」に掲載されている多くの情報を用いて、海について学ぶことができるよう「海洋教育コンテンツ」を 2022 年 9 月に公開した。

3. 本講演について

本講演では、「海しる」の沿岸域に関する情報、機能について紹介する。

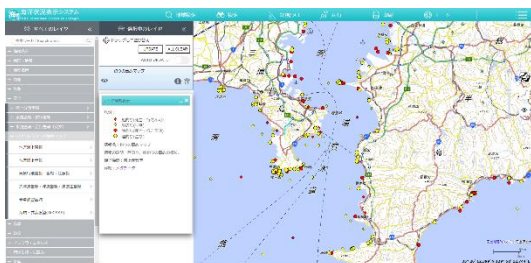


図1 釣りの事故マップ

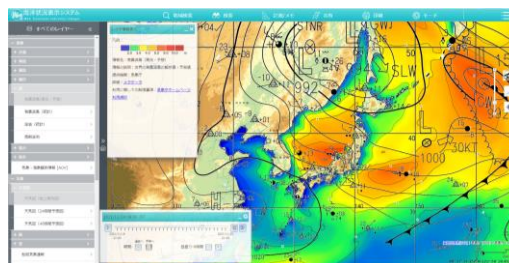


図2 天気図+波高

出典：海洋状況表示システム (<https://www.msil.go.jp/>) より作成

図1の情報提供元：国土地理院、海上保安庁 図2の情報提供元：国土地理院、気象庁